

研究開発センター ニュースレター

「研究開発センター ニュースレター」は、科研費等の公的研究費や学内の研究費等の使用に係る不正防止のための啓発活動の一手段として、研究費の使用ルールの紹介や文科省が発表する研究費不正事例等を紹介していくと共に、研究開発センターにおける研究支援活動の紹介も含めて全構成員へ発信するものです。

公的研究費等 における “目的外使用” とは？

文部科学省による「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」では「不正」を「故意もしくは重大な過失による競争的資金等の**他の用途への使用**又は競争的資金等の交付の決定の内容やこれに付した条件に違反した使用」と定義しています。このうち「他の用途への使用」＝**目的外使用**」は研究費不正使用の事例としてたびたび取り上げられているものですが、他大学を含めた事例を見ると、必ずしも故意でなくとも「うっかり」「認識の甘さ」から発生してしまう場合もあるようです。今回は研究者が陥ってしまいがちな「目的外使用」について、「物品」「出張・旅費」「雇用・謝金」に分けてご紹介します。今後の適正な研究費使用のための参考としてください。



物品における「目的外使用」

❗ **別目的の物品購入費を誤って精算しないようご注意ください。**

公的研究費の直接経費として処理できるのは当該研究課題と直接的にかかわりのあるものだけです。ご自身の**研究**に使用するものであっても**研究課題**との関わりが低いと判断された場合は不正とみなされてしまいます。パソコンなどの汎用性の高い物品については、一律に購入が認められないものではありませんが、「**当該研究課題において**何のためにどのように使用するのかを詳細にご説明できるかどうか」を判断基準としてください。

❗ **年度末の物品購入は「目的外使用」を疑われやすくなります。**

研究課題の**最終年度の年度末の購入**物品は「目的外使用」が疑われやすくなります。監査などで重点的にチェックされる可能性がありますので早めの執行を心がけてください。やむを得ず年度末に購入する場合は**その年度中にその研究課題で使用する必要性**を十分に説明できるかどうかご確認のうえ執行してください。



出張・旅費における「目的外使用」

❗ **オプションツアー費用を研究課題から支出することはできません。**

研究課題と直接的な関連性がない**オプションツアー**に参加した場合の費用は「目的外使用」とみなされ当該研究費から支出できません。「自分の研究分野と一定程度の関連性がある」だけでは正しい使途として認められません。出張日程の中に当該研究課題と直接的な関連性のない日程がある場合は研究開発センターに事前にご相談ください。

❗ **本来の目的が果たせなかった出張の旅費は研究課題から支出することはできません。**

アポイントの不備など事前調整不足によって出張目的の用務（研究課題と直接的な関連のある用務）が果たせなくなってしまう場合は、**たとえ出張先まで行っていたとしても**「目的外使用」とみなされ、当該研究課題から支出することはできません（不可抗力による場合は研究開発センターにご相談ください）。

研究不正の多くは告発によって発覚しています

本学、他大学に関わらず、研究不正の多くは告発によって発覚しています。出勤報告書、領収書等の証憑ですぐにわからないような不正であっても、告発をもとに調査が実施され、研究不正事案として学内外に公開されることがあります。「判明するはずはない」「これくらいはやむを得ない」などと考えずに厳格な管理をお願いします。

雇用・謝金における「目的外使用」

！ 教育（授業）目的の作業をさせないようご注意ください。

特定の研究課題に従事する目的で雇用した研究補助者等に**授業の資料作成補助や添削業務などの作業**を行わせることは、たとえその授業内容が研究課題に関連があったとしても「目的外使用」とみなされます。被雇用者や役務提供者に教育（授業）にかかわる作業等を負わせることのないようご注意ください。

！ 異なる研究課題の作業をさせないようご注意ください。

公的研究費で雇用・役務提供依頼をしている人に**異なる研究課題の作業**をさせた場合は「目的外使用」とみなされます。複数の研究課題をお持ちの場合は依頼する作業を**研究課題ごとに切り分けて管理**することが必要です。

TOPIC

令和6(2024)年度科学研究費助成事業（科研費）の公募が開始されました。

令和6(2024)年度科研費の公募開始が日本学術振興会のホームページで公開されました。研究種目によっては昨年度より2週間ほど公募〆切が早まっています。学内締切日を以下のとおり設定しております。科研費への申請を予定されている場合は、研究計画調書の構想等に早めに着手いただきますようご連絡します。最新の情報は以下のサイトにてご確認ください。

URL : <https://www.hosei.ac.jp/kenkyu/kenyukaihatsu/kakenjiseki/kobo/>



研究計画調書作成に役立つ動画コンテンツの提供やオンラインセミナーを実施しています。すでにWeb掲示板等でお知らせしていますが、ご不明な点は研究開発センターへお問い合わせください。

研究種目名	公募開始	学内締切日	公募締切時期	審査結果開示時期
・ 学術変革領域研究（A） 公募研究 ・ 基盤研究（A）（B）（C） ・ 若手研究 ・ 奨励研究	2023年 7月14日	応募予定届出書締切 8月10日（木） 研究計画調書締切 8月24日（木）	2023年 9月19日 ※昨年度は 2022年 10月5日締切 （注：基盤Aのみ2022 年9月5日）	2024年2月下旬
・ 挑戦的研究（開拓・萌芽）				2024年6月下旬
・ 研究成果公開促進費 （研究成果公开发表／国際 情報発信強化／学術図書／ データベース）				2024年3月下旬
・ 国際共同研究強化 ・ 帰国発展研究				2024年2月下旬

TOPIC

「公的研究費等の不正防止計画」を一部改正しました。

2023年7月5日付で「法政大学における公的研究費等の不正防止計画（第四次）」の一部改正を行いました。今回の改正では、2022年に発覚した本学元教員による公的研究費不正使用事案に際して本学が公表した再発防止策の内容を追加しました。本学公式Webサイトにて公開しています。

URL : https://www.hosei.ac.jp/application/files/6816/8871/6137/fusei_boushi_keikaku_4.pdf

